

9月 環境と健康について考える
13日 こものプロギングを開催



◀食品ロスについて考える参加者

ジョギングをしながらごみ拾いを行うスウェーデン発祥の環境活動「プロギング」を開催しました。当日は雨天のため屋外でのごみ拾いは中止となりましたが、図書館2階催事室で食品ロスについて考えるワークショップを行いました。ワークショップの後には、町の地域活性化起業人で、スポーツクリニック THE SUN'S 院長の岡田充弘さんによる講演が行われ、環境保全への取り組みと、自身の健康づくりの大切さについて、あらためて考える機会となりました。

9月 ショパンの故郷・ポーランドから来日
22日 ショパン音楽大学特別公演



◀公演の様子

ポーランドのショパン音楽大学室内管弦楽団による特別公演「平和への響き 2026 in 菰野」を町 70 周年記念事業の一環として町民センターホールで開催しました。公演では、ショパンのピアノ協奏曲第1番ホ短調と、ベートーヴェンの交響曲第3番「エロイカ」が披露され、来場者は美しい音色に聴き入っていました。

9月 9月10日から20日までの11日間派遣
9日 熊本地震職員派遣出発式



◀出発式で町長から激励を受ける職員

7月28日に発生した令和8年熊本地震の被災地支援のため、三重県からの要請を受けて、保健師の庄村主査と事務職員的美濃部主任主事を熊本県宇城市に派遣しました。出発式で町長は「被災地の皆さんに安心を届けるとともに、支援活動を通じて得た経験を持ち帰り、本町における今後の防災対策に生かしてほしい」と激励しました。現地では、庄村主査は健康相談や健康管理等の業務、美濃部主任主事は罹災証明書の発行に関する業務にそれぞれ従事しました。

9月 平和の尊さを見つめなおす機会に
12日 平和祈念の集いを開催



◀講演を行う樋口隆一さん

平和祈念の集いを町民センターホールで開催しました。「北海道とユダヤ人約2万人を救った男〜樋口季一郎について語る〜」と題し、季一郎氏の孫で明治学院大学名誉教授の樋口隆一さんが講演を行いました。講演では、季一郎氏が残した記録や当時の国際情勢を通して、多くのユダヤ人難民に手を差し伸べた季一郎氏の行動などが紹介されました。

9月 社会福祉活動等に功績があった方を表彰
5日 社会福祉大会を開催



◀脳トレに取り組む参加者たち

第38回菰野町社会福祉大会を町民センターホールで開催し、33の個人と団体に表彰状や感謝状が贈られました。式典後の第2部では、国立長寿医療研究センター研究所長特任補佐の櫻井孝さんを招き、記念講演「認知症って予防できるの？〜最新の認知症予防プログラムとは〜」を行いました。講演では、最新の認知症研究の動向や日常生活で取り組める予防法などが紹介され、参加者は実際に体を動かしながら認知症への理解を深めていました。

9月 町の魅力をPR
5日 移住フェアに出展



◀ブースを訪れた来場者に町の説明をする担当者

名古屋市で開催された「みえ移住フェア 2026」に出展しました。このイベントは、県内市町の担当者が、まちの魅力や行政情報、各種制度などを移住希望者に直接伝えることを目的に、公益社団法人ふるさと回帰・移住交流推進機構と三重県の共催で開催されたもので、のべ82組121名が来場しました。

9月 アジア競技大会に日本代表として出場
3日 伊藤 陸さんが表敬訪問



◀役場本庁を訪れた伊藤さん（写真右）と町長

愛知・名古屋 2026 アジア競技大会の男子走り幅跳びに日本代表として出場する伊藤 陸さん（スズキアスリートクラブ所属）が町長を訪問しました。伊藤さんは小学生の頃に元気アップこものスポーツクラブで陸上競技を始め、菰野中学校、近畿大学工業高等専門学校と進み、走り幅跳びと三段跳びに取り組んできました。伊藤さんは「菰野町で始めた陸上競技が実を結んだことが嬉しいです。競技で頑張る姿を通して、皆さんが元気になるきっかけになればと思っています。アジアの頂点をとれるよう頑張ります」と抱負を語りました。

9月 自分らしく元気に動き続けるために
4日 救急講演会を開催



◀講演会の様子

高齢者の健康維持と救急搬送の未然防止を目的に救急講演会を菰野地区コミュニティセンターで開催しました。菰野厚生病院副院長で整形外科医の山田浩之先生が「骨折予防は転倒予防〜いつまでも元気に動ける体へ〜」と題して講演し、高齢者の骨折の症例や転倒の原因、転倒リスクを軽減する方法などを紹介しました。